

地震の予測 (4)

前回で気象予報についてお話ししましたが、今回は地震の予測について考えてみます。

よく、知られているように地震の仕組みは大陸プレートのせめぎ合いから、地球内部へ

引き込まれる方のプレートの歪みが増して行って、ある限度を超えた時に内部に蓄積した

歪みを開放することによって起こります。

ただ、現在の地球シミュレーターといえども、地震の予測シミュレートは難しいと言わざるを得ません。

関連する要素が巨大な何100kmにおよぶ大陸プレートから、岩石の分子のようなミクロな物の振る舞いまでをシミュレートしなくてはならず、今のコンピューターでは手に余る仕事です。

今の所、地震発生の震源位置の特定、マグニチュードからの被害予測などに貢献しています。

いずれは、新たなアルゴリズムが考案されて予報も可能になるかもしれませんし、他の方法=それこそナマズの観察(?)

なんかも研究されているようです。

先日、イタリアでは地震学者7名が2009年のイタリア中部地震を兆候なしとした報告をしたため、多くの方が地震に対する備えをしなかった

ということで、起訴されたそうです。実際には、まだまだ地震にたいしては正確な予知はできないことを考えれば、学者に期待しすぎるのが

ナンセンスである事は自明の理であると思います。